2026.11.13

株式会社 ココルポート

2027年6月期 第1四半期

決算説明資料

【証券コード：9346】

©2026 Cocorport, Inc.

企業理念

私たちは一人ひとりの可能性を信じ、
自分らしさと笑顔あふれる社会を共創します。

私たちは一人ひとりが様々な可能性を持っていることを知っています。
そして、一人ひとりの自分らしさと笑顔あふれる社会を、関わる全ての人たちと
共に創り上げていきたいという願いを企業理念としています。

©2026 Cocorport, Inc.

目次

1. 中長期の成長戦略
2. エグゼクティブ・サマリー
3. 決算概要(2027年6月期 第1四半期)
4. 業績予想(2027年6月期)
5. 株主還元
6. 【参考】マーケットと会社概要
7. 【参考】競争優位性

©2026 Cocorport, Inc.

1.中長期の成長戦略

©2026 Cocorport, Inc.

企業理念

一人ひとりの自分らしさと笑顔あふれる社会を、関わる全ての人たちと共に創り上げていきたいという願いを企業理念としています。

その企業理念を実現するためには、ステークホルダーと共に長期的に成長する必要があると考えており、2027年6月期についても積極的に「人的資本への投資」に加え、「株主還元」も行ってまいります。

企業理念

私たちは一人ひとりの可能性を信じ、
自分らしさと笑顔あふれる社会を共創します。

私たちは一人ひとりが様々な可能性を持っていることを知っています。
そして、一人ひとりの自分らしさと笑顔あふれる社会を、関わる全ての人たちと
共に創り上げていきたいという願いを企業理念としています。

©2026 Cocorport, Inc.

2012年の創業来、“指定障害福祉サービス事業”を展開

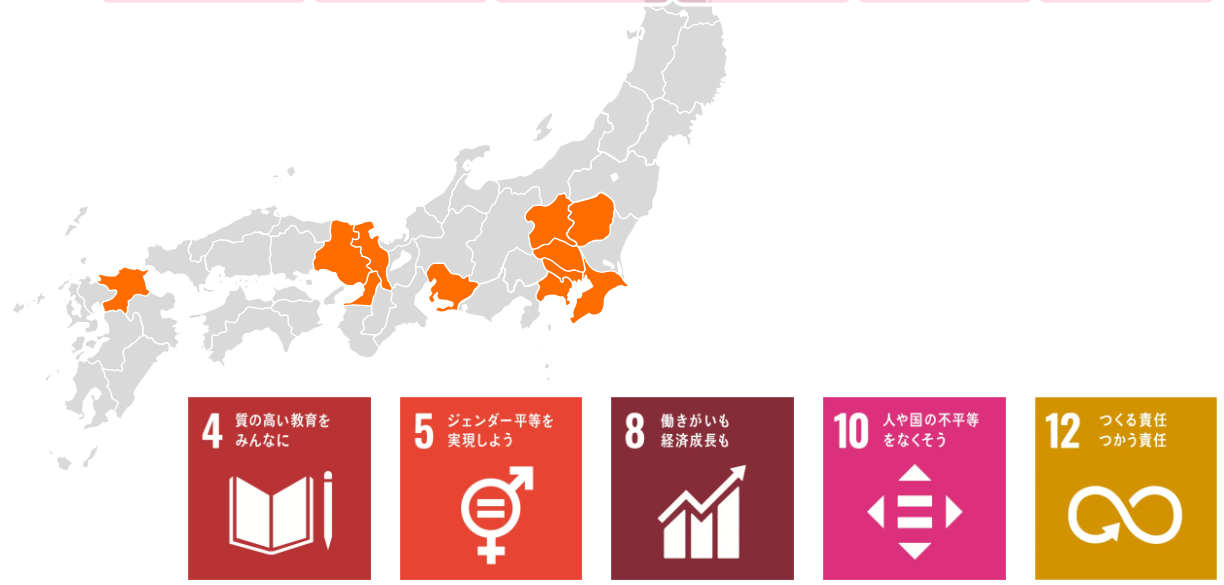
株式会社ココルポート（Cocorport, Inc.）

CO（コ）は英語の「一緒に、共に」。
COR（コル）はラテン語で「心、気持ち」。
PORT（ポート）は英語の「港」。

- ◆ 設立　2012年1月5日
- ◆ 事業内容　障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業
- ◆ 本社　神奈川県川崎市川崎区
- ◆ 従業員数※1　853人

サービス別事業所の状況※1※2

（単位：拠点）		関東	関西	東海	福岡
就労移行支援※3	87（76）	68（61）	12（8）	5（5）	2（2）
自立訓練※4	47	36	7	2	2

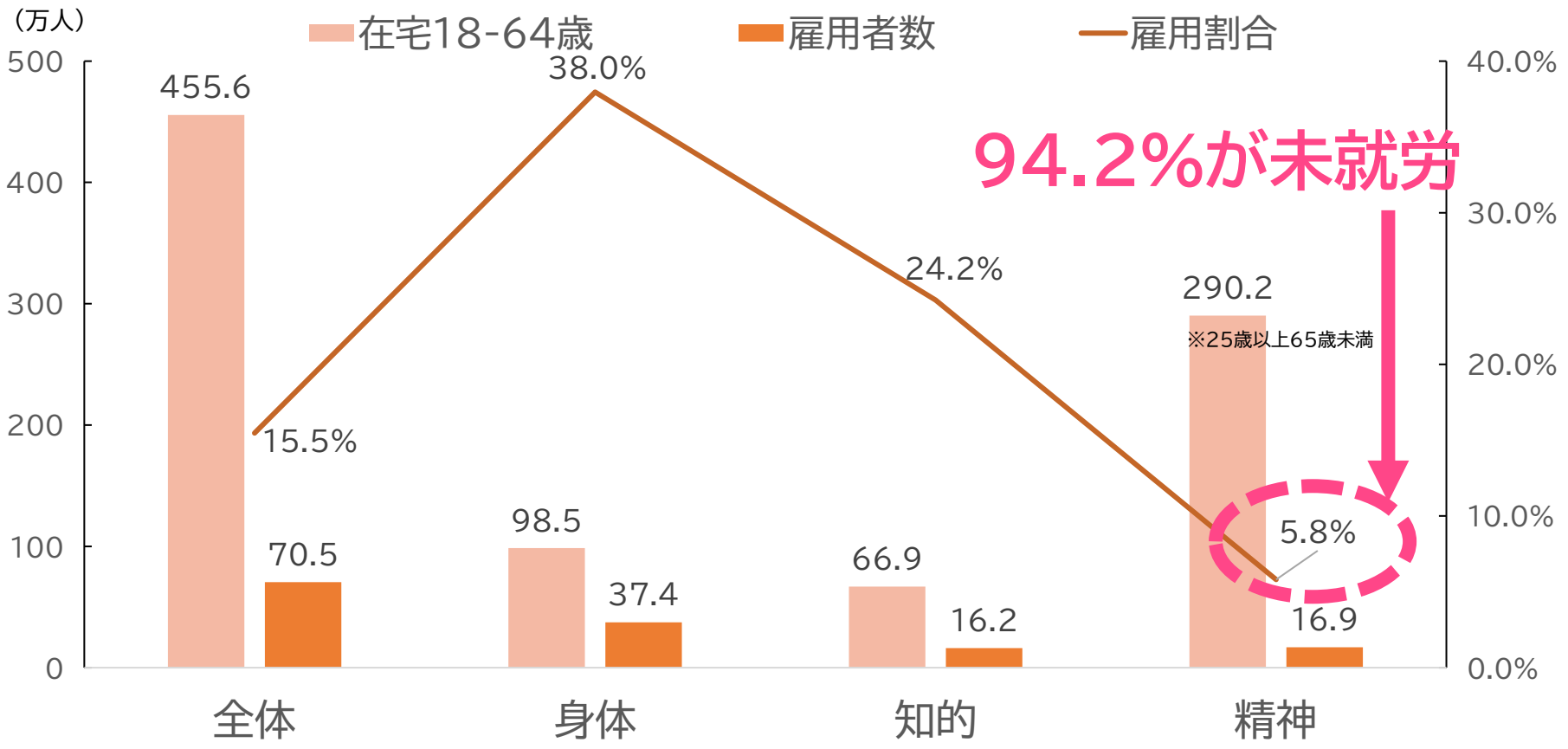


※1　2026年9月末時点（プレオープン含む）
※2　本表以外に指定計画相談支援事業所6拠点
※3　括弧書きの数値は、内数で就労定着支援併設の事業所数
※4　Cocorport Rework、多機能型 含む

©2026 Cocorport, Inc.

市場環境：障がい者一般就労状況

■ （メインターゲットである）精神障がいのある方のほとんどが未就労。
■ 当社サービスのご利用者様になりうる方が多く存在（潜在顧客が多い）。
※当社ご利用者様の約80%は精神障がい（発達障がい含む）。

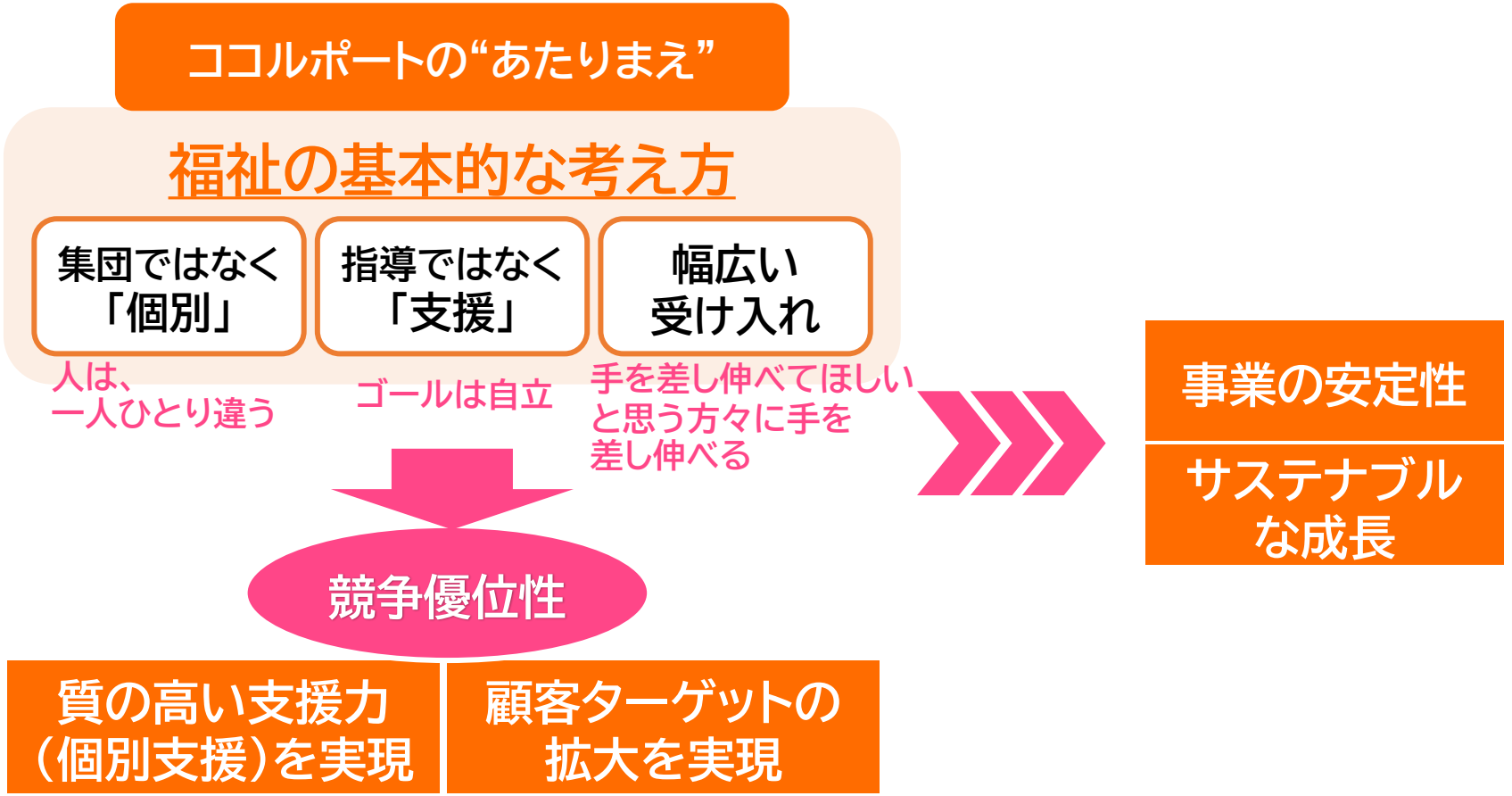


出典：内閣府「2026年版　障害者白書」
厚生労働省「2025年 障害者雇用状況の集計結果」より当社作成

©2026 Cocorport, Inc.

競争優位性①：質の高い支援力／顧客ターゲットの拡大

■ ココルポートの競争優位性を活かし、就職者数を安定的に輩出。
⇒就労移行支援事業所の高報酬単価を安定的に獲得することで、
事業の安定性とサステナブルな成長を継続。



©2026 Cocorport, Inc.

競争優位性②：一気通貫の“障害福祉サービス”の実現

■ 「自立訓練（生活訓練）※Cocorport College」「就労移行支援」「就労定着支援」「リワーク」のサービスを一体として提供する体制を整えることでシナジーが生まれる。

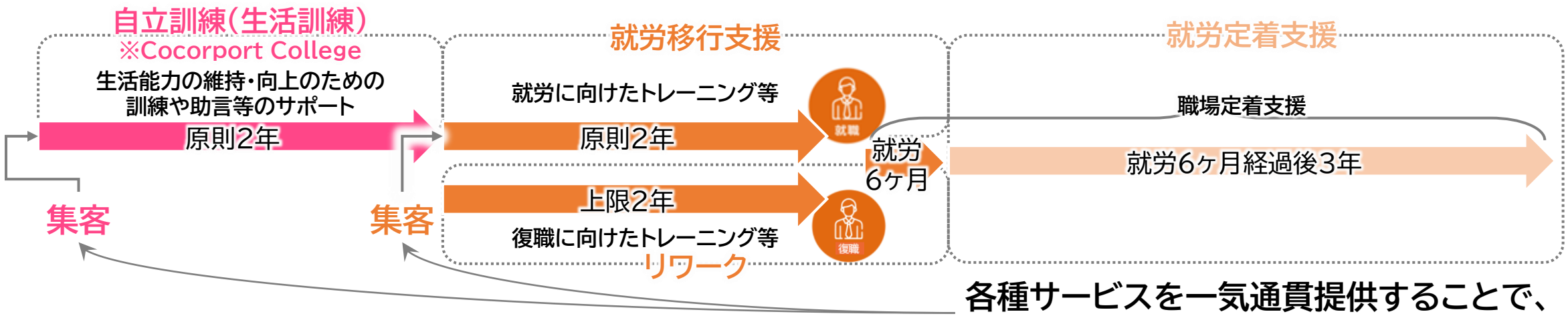
自立訓練（生活訓練）
※Cocorport College

もともと展開している就労移行支援事業所の近くに出店することにより、既に連携している各種関係機関や支援学校へ効率的にアプローチ

ドミナント展開及び一気通貫によるシナジー効果

就労移行支援

自立訓練（生活訓練）サービスの卒業生が就労移行支援事業所のご利用者様になることで集客が効率化

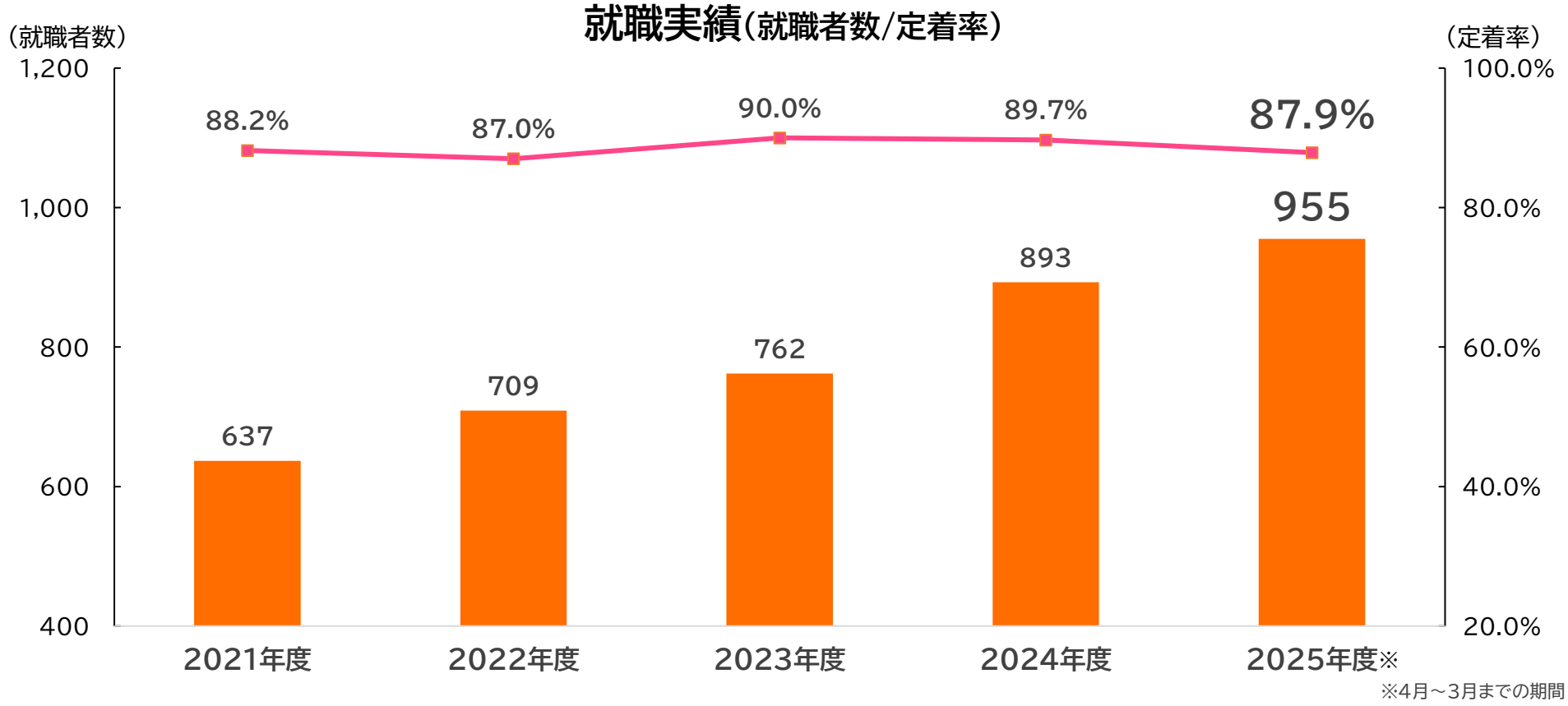


各種サービスを一気通貫提供することで、域内各種支援機関等からの認知度が向上

©2026 Cocorport, Inc.

就職実績(就職者数/定着率)について

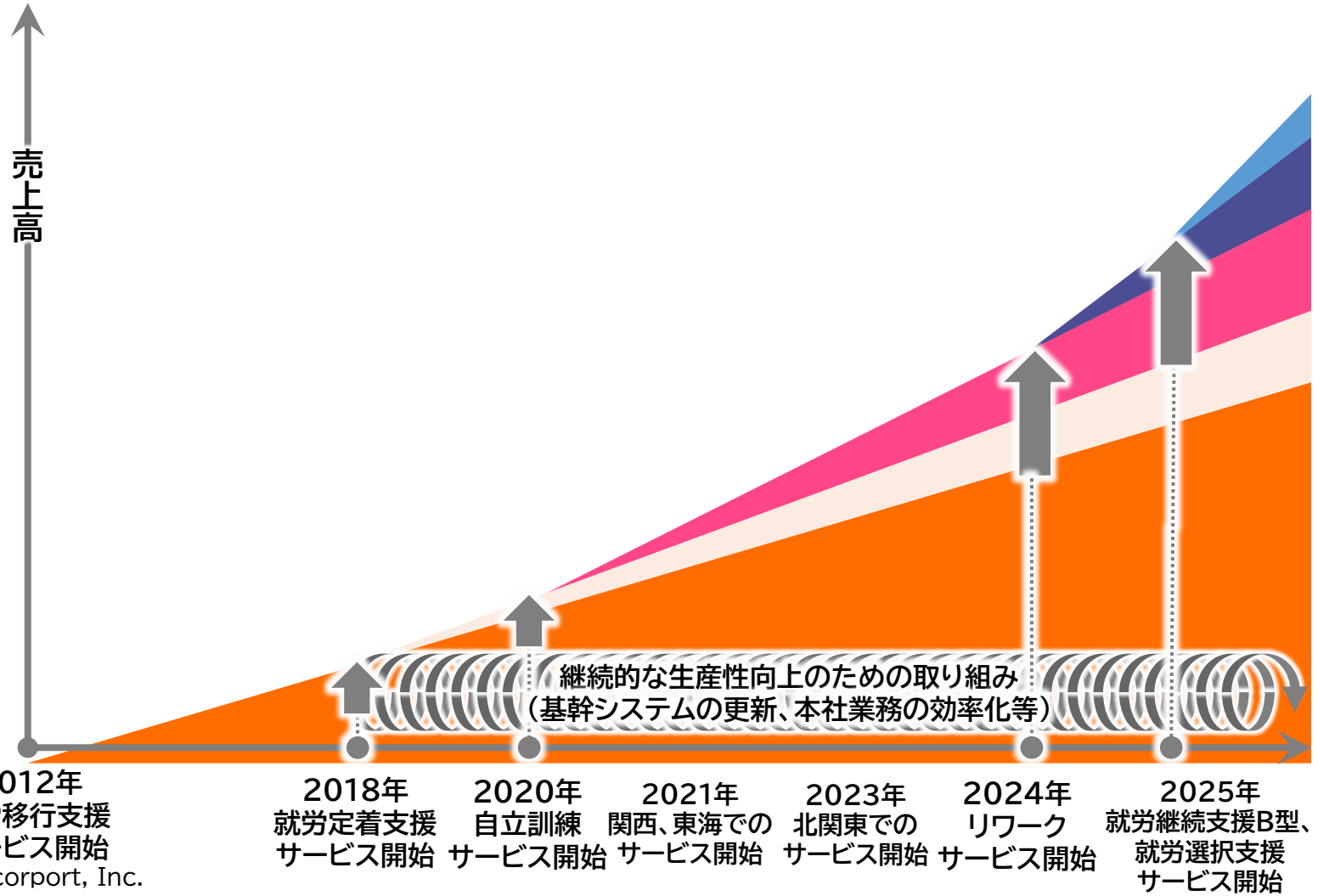
- 就職者数は過去最高を更新。(2024年度:893名 →2025年度:955名)。
  ※法定雇用率引き上げ(2.3%→2.5%(2024年4月)→2.7%(2026年7月))の影響あり
- 定着率は前年度実績と同程度。(2024年度:89.7%→2025年度:87.9%)。



©2026 Cocorport, Inc.

今後の成長イメージと成長を牽引する各種施策

■ 市場拡大を追い風に、当面足許の成長スピードを堅持。
■ 「質の高い支援」に基づく就労移行支援事業所開設、周辺サービスへの展開。



5 周辺サービスの
さらなる展開

4 リワーク
事業所の拡大

3 自立訓練（生活訓練）
事業所の拡大

2 就職者増加への対応
による、就労定着支援
サービス提供拡大

1 新たなドミナントも
合わせた、就労移行支援
事業所の拡大

©2026 Cocorport, Inc.

2.エグゼクティブ・サマリー

©2026 Cocorport, Inc.

業績

27/6期 1Q 実績

2拠点(プレオープン1拠点含む)を出店。人的資本・マーケティング・DX/ITガバナンスへの戦略投資により利益は前年同期を下回るものの、計画どおりに推移。

売上	1,905百万円	前期比	108.8%
経常利益	228百万円	前期比	92.9%
当期純利益	153百万円	前期比	91.0%

27/6期 予想

12拠点の出店を計画。
人的資本への投資を行いつつ8期連続の増収増益の計画。

売上	8,020百万円	前期比	112.8%
経常利益	901百万円	前期比	108.3%
当期純利益	634百万円	前期比	108.5%

©2026 Cocorport, Inc.

株主還元

27/6期 予想

配当性向50%を目安に、2027年6月期末に86円の配当を予定。

配当性向　50%　　年間配当　86円(予想)

27/6期 配当 方針

株主の皆様への利益還元機会の一層の充実を図るため、
剰余金の配当を中間配当と期末配当の年2回実施する方針に変更。

中間配当　43円(予想)　期末配当　43円(予想)

©2026 Cocorport, Inc.

3. 決算概要
（2027年6月期 第1四半期）

©2026 Cocorport, Inc.

決算(2027年6月期 第1四半期)のポイント

1

拠点数

出店計画12拠点に対して、2拠点(プレオープン1拠点含む)を出店。
※博多エリア:2拠点を多機能型事業所(1拠点)に統合済(8/1)

2

前年同期比

新規出店と報酬単価上昇の影響により、売上の前年同期比(増減率)は8.8%増。
人的資本、マーケティング、DX・ITガバナンスへの戦略投資を継続していることから、経常利益は前年同期比7.1%減。
但し、2027年4月からの報酬改定を事業計画に見込んでおり、売上利益ともに計画通りに推移。

3

業績予想比

売上は、天候不順の影響を受けつつも、計画通りに推移。
人的資本・マーケティング・DX/ITガバナンスへの先行投資により
経常利益は前年同期を下回るものの、計画どおりに推移。

©2026 Cocorport, Inc.

【前年同期比】決算概要(2027年6月期 第1四半期)

- 新規出店と報酬単価上昇の影響により、売上の前年同期比(増減率)は8.8%増。
- 人的資本、マーケティング、DX・ITガバナンスへの戦略投資を継続していることから、経常利益は前年同期比7.1%減。
- 但し、2027年4月からの報酬改定を事業計画に見込んでおり、売上利益ともに計画通りに推移。

(単位:百万円)	2027年6月期 第1四半期			2026年6月期 第1四半期	
	金額	売上比	前年同期比 増減率	金額	売上比
売上高(※)	1,905	-	+8.8%	1,751	-
売上原価	1,368	(71.8%)	+11.1%	1,231	(70.3%)
売上総利益	537	(28.2%)	+3.4%	519	(29.7%)
販売費及び一般管理費	318	(16.7%)	+12.7%	282	(16.1%)
経常利益	228	(12.0%)	△7.1%	245	(14.0%)
当期純利益	153	(8.0%)	△9.0%	168	(9.6%)

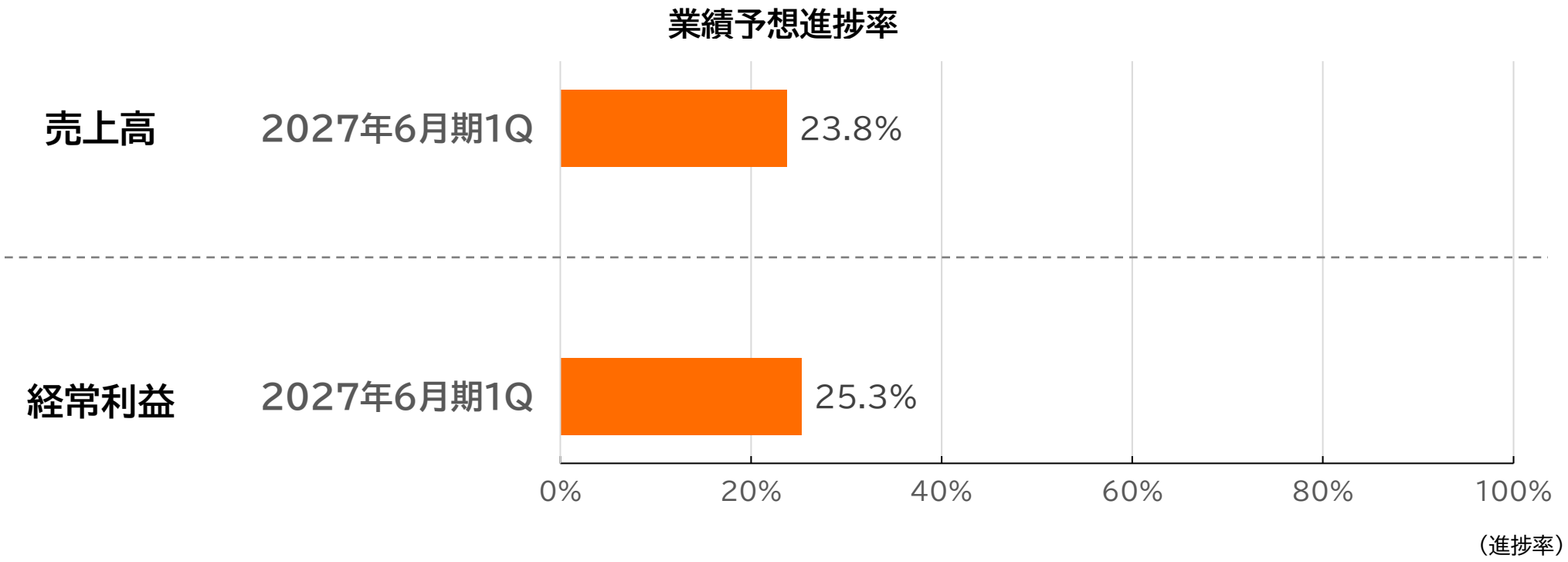
※当社の売上高セグメントは、「指定障害福祉サービス事業」の単一セグメントとなります

©2026 Cocorport, Inc.

【進捗状況】決算概要（2027年6月期 第1四半期）

業績予想に対する進捗率は、

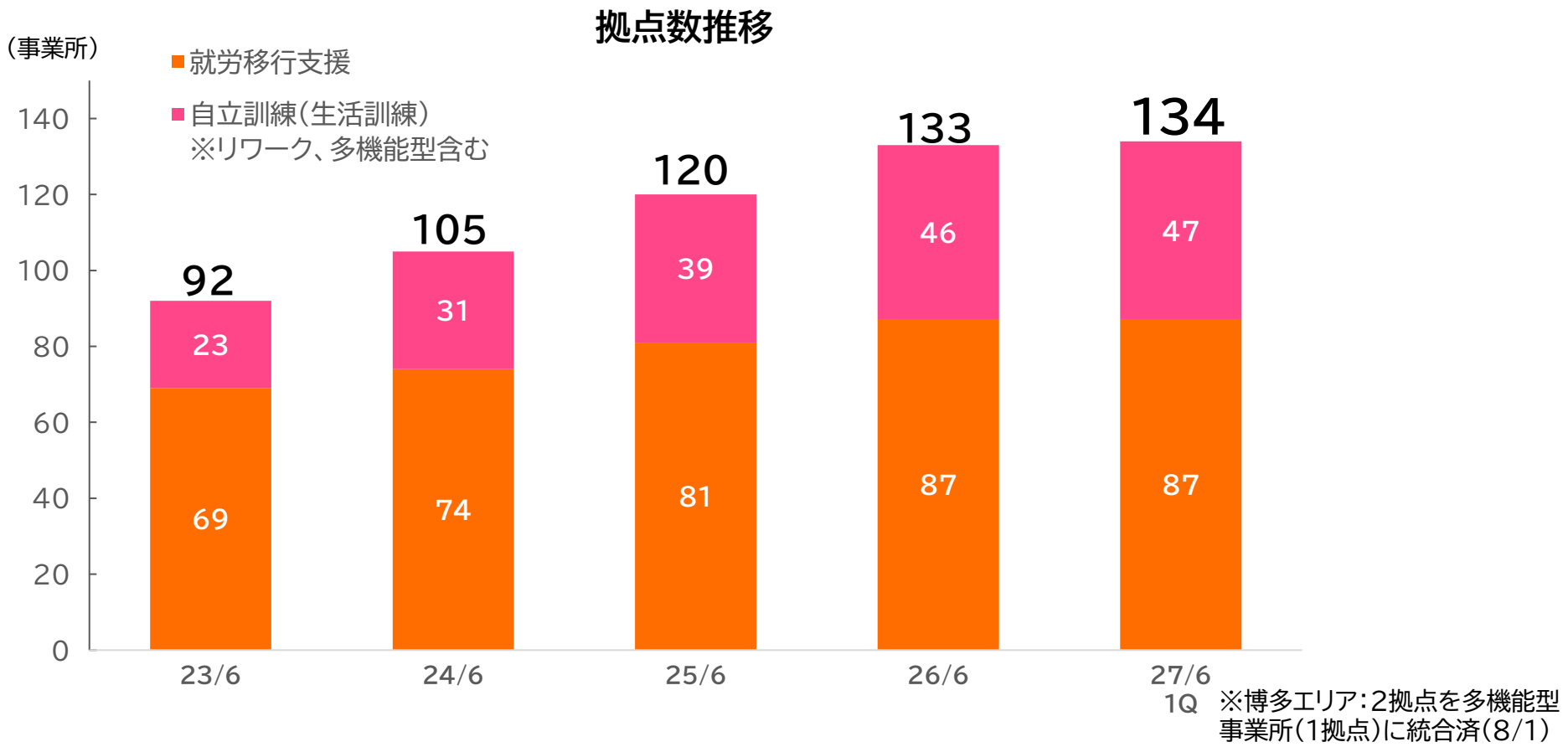
- 売上は、天候不順(※)の影響を受けつつも、計画通りに推移。
  ※ 長雨、集中豪雨、台風によるマイナス影響（欠席率の増加）
- 人的資本・マーケティング・DX/ITガバナンスへの先行投資により
  経常利益は前年同期を下回るものの、計画通りに推移。



©2026 Cocorport, Inc.

拠点数推移

■ 拠点数は134拠点(就労移行支援:87　自立訓練(生活訓練):47)。
→ 2拠点(プレオープン1拠点含む)を出店。
※博多エリア:2拠点を多機能型事業所(1拠点)に統合済(8/1)

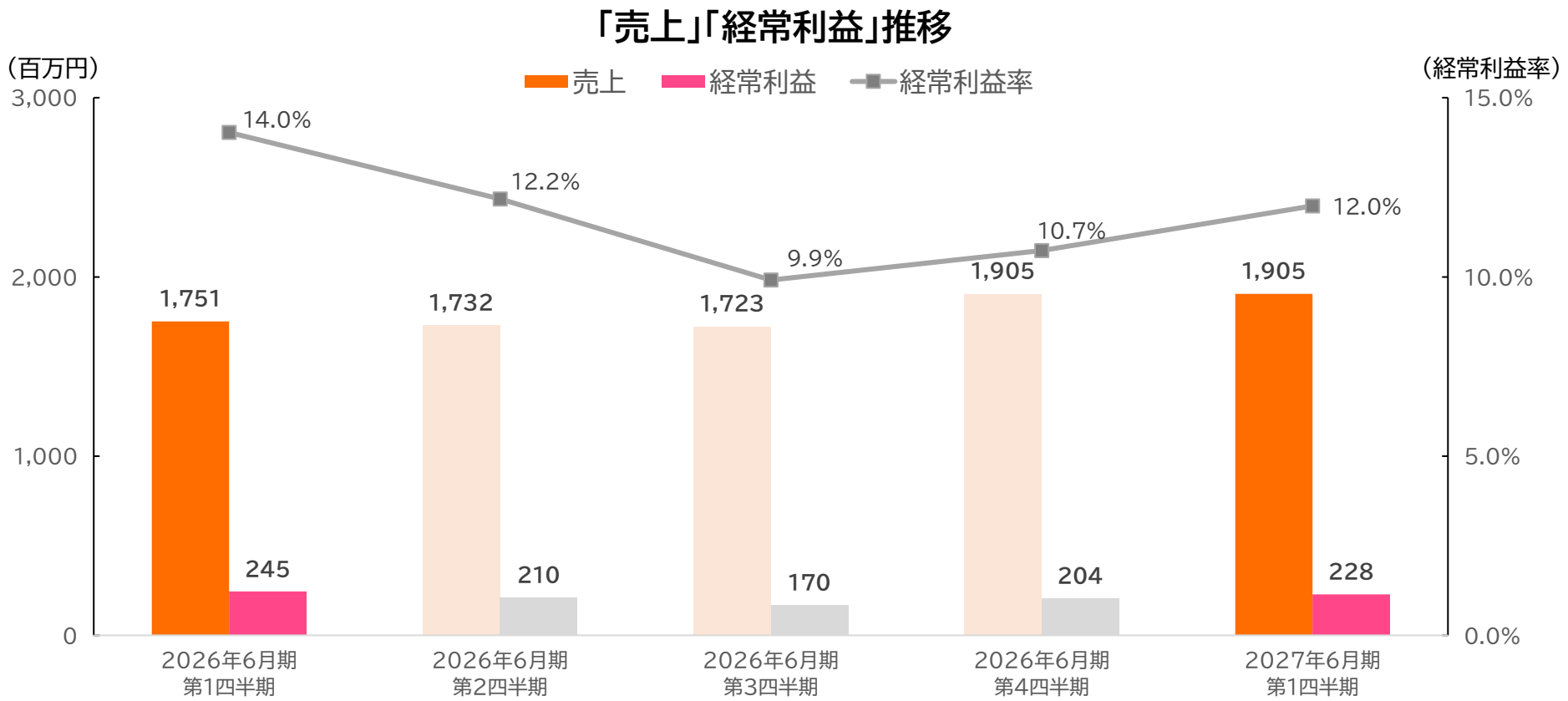


※博多エリア:2拠点を多機能型事業所(1拠点)に統合済(8/1)

©2026 Cocorport, Inc.

決算概要(2027年6月期 第1四半期)-四半期推移-

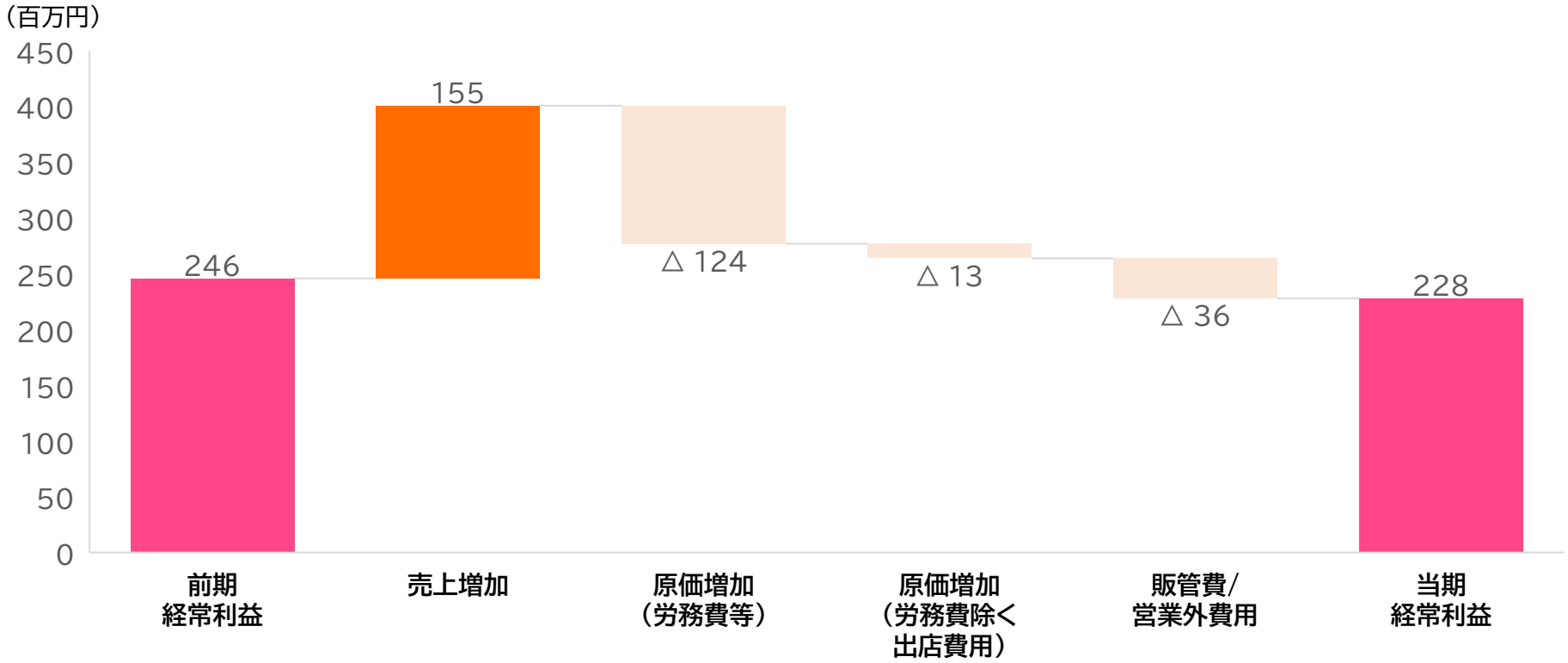
- 売上は順調に増加(前年同期比)。
- 経常利益は人的資本・マーケティング・DX/ITガバナンスへの先行投資により、前年同期を下回る。



©2026 Cocorport, Inc.

決算概要(2027年6月期 第1四半期)-利益増減分析-

- 事業所数の増加や定着実績に伴う報酬単価上昇の影響により売上は増加。
- 事業所開設に伴って労務費、出店費用増加。経常利益は人的資本・マーケティング・DX/ITガバナンスへの先行投資により、前年同期を下回る。



©2026 Cocorport, Inc.

決算概要(2027年6月期　第1四半期)-その他-

■ 「就労移行支援/自立訓練(生活訓練)利用者数」は以下のようになっております。

就労移行支援/自立訓練(生活訓練)利用者数※
2,735名 (前年比:104%)

※2026年9月末時点

■ 神奈川県産業労働局から2026年度の神奈川県における「障害者職場定着支援事業」を受託。

神奈川県における「障害者職場定着支援事業」を受託
○目的 障がい者雇用のノウハウが少なく、障がい当事者とのコミュニケーション等に悩みを持っている 神奈川県内企業を対象に、相談窓口を設け、必要に応じてアドバイザー派遣等を行い、 職場定着支援を行うことで、雇用に関する課題解決の促進を図ることを目的とします。 神奈川県内における「障害者職場定着支援事業」業務の委託を受け、障がい者の安定した職場定着を強力に推進し、神奈川県内企業の障がい者雇用に関する課題解決を促進して参ります。

©2026 Cocorport, Inc.

4. 業績予想
（2027年6月期）

©2026 Cocorport, Inc.

業績予想(2027年6月期)のポイント

1 *出店*
新規出店は12拠点(就労移行支援5拠点、自立訓練(生活訓練)7拠点)。

2 *業績*
8期連続の増収増益の見通し。

3 *株主還元*
安定した収益成長力と財務安定性を考慮し、配当性向を50%(目安)に引上げます。

©2026 Cocorport, Inc.

業績予想(2027年6月期)

- 売上高は 8,020百万円、経常利益は 901百万円、当期純利益は 634百万円と予想。
- 新規出店は12拠点(就労移行支援5拠点、自立訓練(生活訓練)7拠点)。
- 人的資本への投資に加えて、「マーケティング」「DX・ITガバナンス(※)」を強化。
  ※詳細は次ページ参照

(単位:百万円)	2027年6月期			2026年6月期	
	金額	売上比	前年同期比増減率	金額	売上比
売上高	8,020	-	+12.8%	7,112	-
売上原価	5,755	(71.8%)	+12.5%	5,115	(71.9%)
売上総利益	2,265	(28.2%)	+13.4%	1,997	(28.1%)
販売費及び一般管理費	1,369	(17.1%)	+15.7%	1,184	(16.6%)
経常利益	901	(11.2%)	+8.3%	831	(11.7%)
当期純利益	634	(7.9%)	+8.5%	584	(8.2%)

©2026 Cocorport, Inc.

業績予想(DX・ITガバナンス)

■ サステナブルな成長を支えるDX・ITガバナンス強化。

■ Notta(※)導入： 業務効率化

※Notta株式会社：AIを活用した音声認識・文字起こしサービスを提供する企業

- 会議や面談の自動文字起こし、要約による業務効率化
- 情報共有の迅速化による意思決定スピード向上

■ ゼロトラスト型ネットワーク(※)導入 ： セキュリティ強化

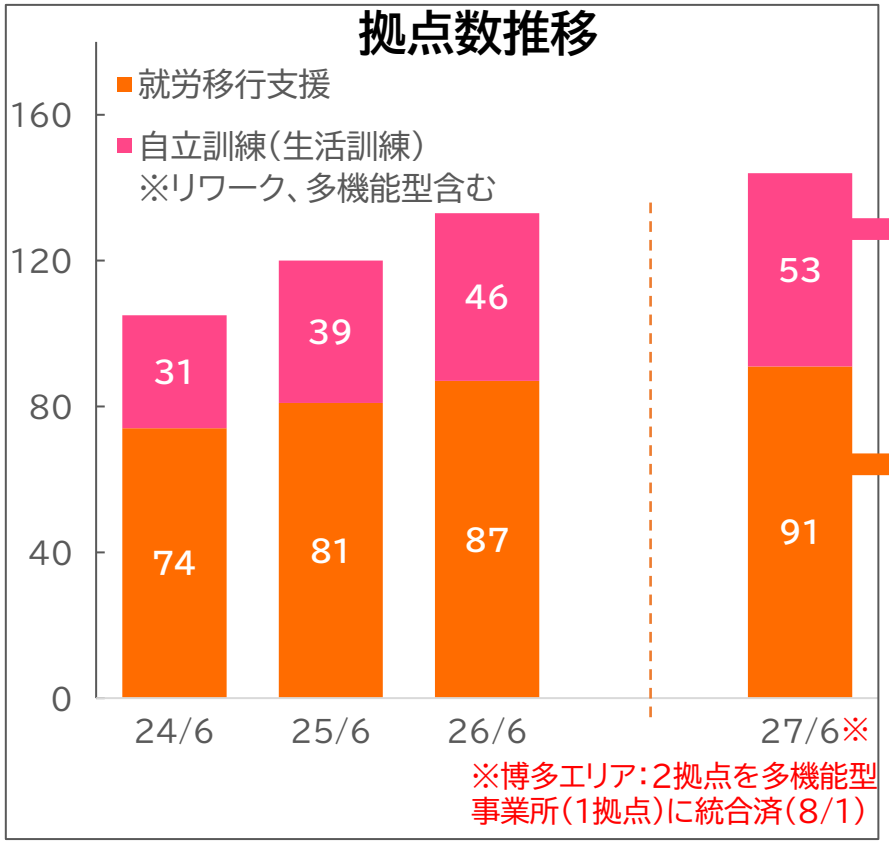
※「何も信用しない」を前提に、社内や社外といった場所に関係なく、すべてのアクセスや通信をその都度確認して安全性を確かめるセキュリティの考え方

- 情報セキュリティリスクの低減
- 将来的な事業拡大を見据えたITインフラ整備

©2026 Cocorport, Inc.

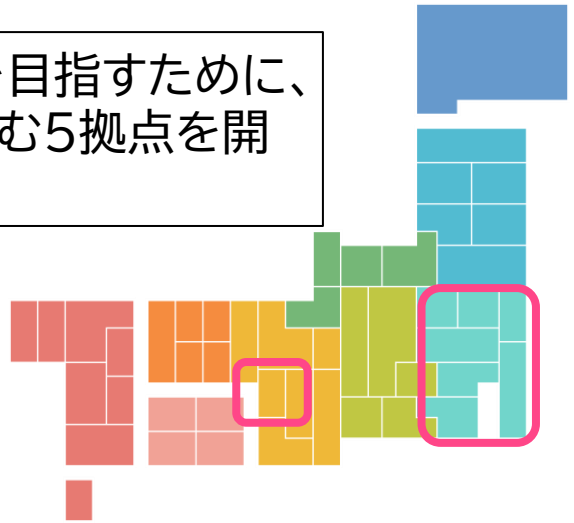
業績予想(2027年6月期)-拠点数推移-

- 拠点数は144拠点へ(就労移行支援:91　自立訓練(生活訓練):53)。
- 就労移行支援は5拠点を開設。
- 自立訓練(生活訓練)は7拠点を開設(リワーク:7)。



就労移行支援事業所が出店するエリアに7拠点を開設。就労移行支援事業所とのシナジー効果を生み出していく

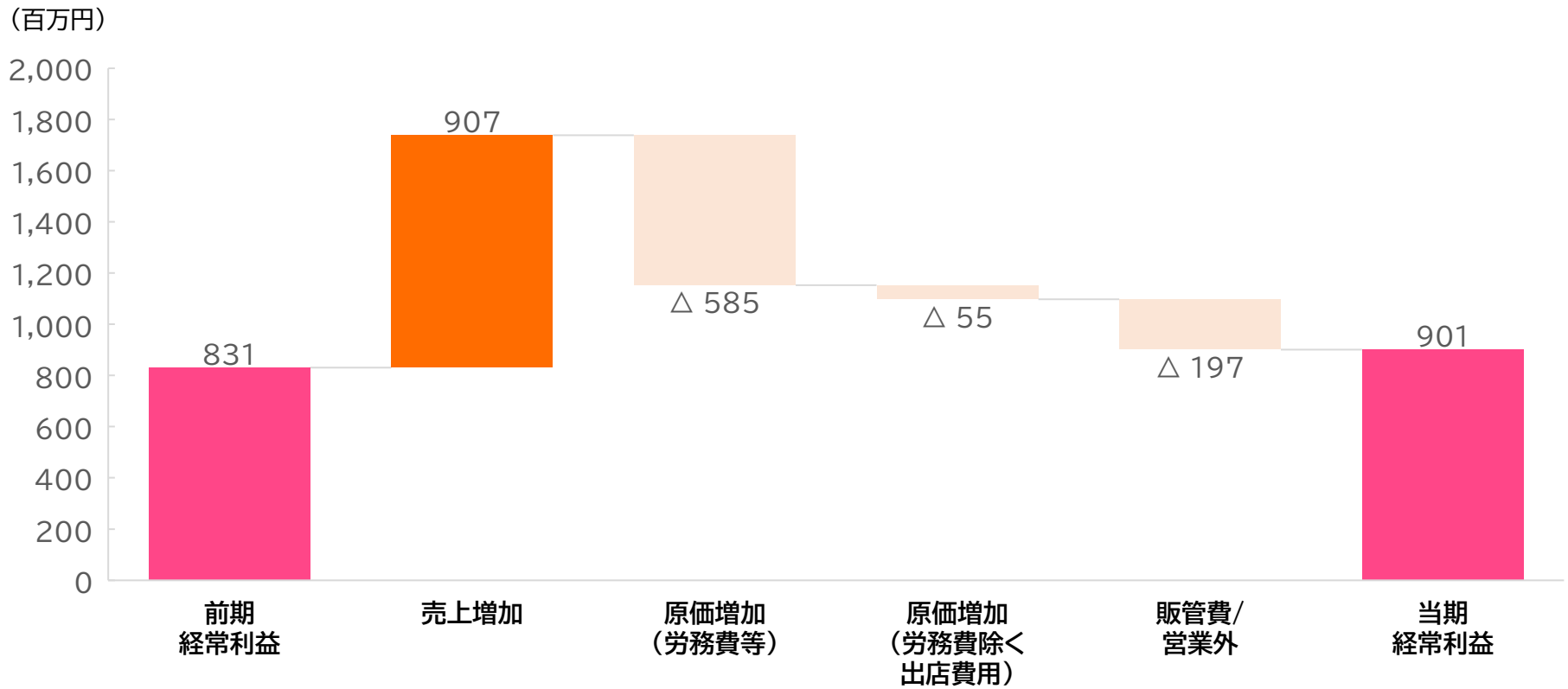
さらなる成長を目指すために、関西エリアを含む5拠点を開設



©2026 Cocorport, Inc.

業績予想(2027年6月期)-利益増減分析-

- 事業所数の増加や定着実績に伴う報酬単価上昇の影響により売上は増加。
- 事業所開設に伴って労務費、出店費用増加。加えて、人的資本への投資も行いつつ前期を上回る経常利益を確保。



©2026 Cocorport, Inc.

5. 株主還元

©2026 Cocorport, Inc.

株主還元の基本方針の変更について

■ 当社の経営環境及び今後の経営計画を踏まえ、引き続きの健全な財務体質の維持及び将来の事業拡大に備えるための内部留保を確保しつつも、株主の皆様への利益還元が可能と判断し、配当方針を以下内容に変更。

【株主還元の基本方針】

当社は、企業価値を継続的に拡大し、株主に対する利益還元を行うことを重要な経営課題として認識しております。

今後の配当政策につきましては、引き続きの健全な財務体質の維持及び事業拡大のための内部留保を確保しつつ、配当性向50%を目安に、事業の成長に沿った継続的かつ安定的な配当を実施する方針であります。

また、配当は、中間配当と期末配当の年2回実施する方針といたします。

©2026 Cocorport, Inc.

2027年6月期の配当予想について

■ 安定した収益成長力と財務安定性を考慮しつつ、**株主還元強化**を意図し、2027年6月期は、**配当性向を50%**（目安）に引上げます。

基本方針



健全な財務体質の維持

事業拡大のための内部留保を確保

	2026/6期 実績		2027/6期 予想
期末配当	64円	➡	86円

©2026 Cocorport, Inc.

配当方針の変更（中間配当の実施）

■ 株主の皆様への利益還元機会の一層の充実を図るため、剰余金の配当を中間配当と期末配当の年2回実施する方針といたします。

中間配当基準日：毎年12月31日

当社の定款において、取締役会の決議によって毎年12月31日を基準日として配当を行うことができる旨を定めております。

	25/6期	26/6期	27/6期（予想）		
	年間合計	年間合計	中間配当	期末配当	年間合計
配当金	47円	64円	43円	43円	86円

©2026 Cocorport, Inc.

6.【参考】マーケットと会社概要

©2026 Cocorport, Inc.

2019年に一新した“企業理念”

私たちは一人ひとりの可能性を信じ、

自分らしさと笑顔あふれる社会を共創します。

私たちは一人ひとりが様々な可能性を持っていることを知っています。
そして、一人ひとりの自分らしさと笑顔あふれる社会を、関わる全ての人たちと
共に創り上げていきたいという願いを企業理念としています。

©2026 Cocorport, Inc.

全従業員で6ヶ月をかけて制定した“11の行動指針”

Cocorport 11

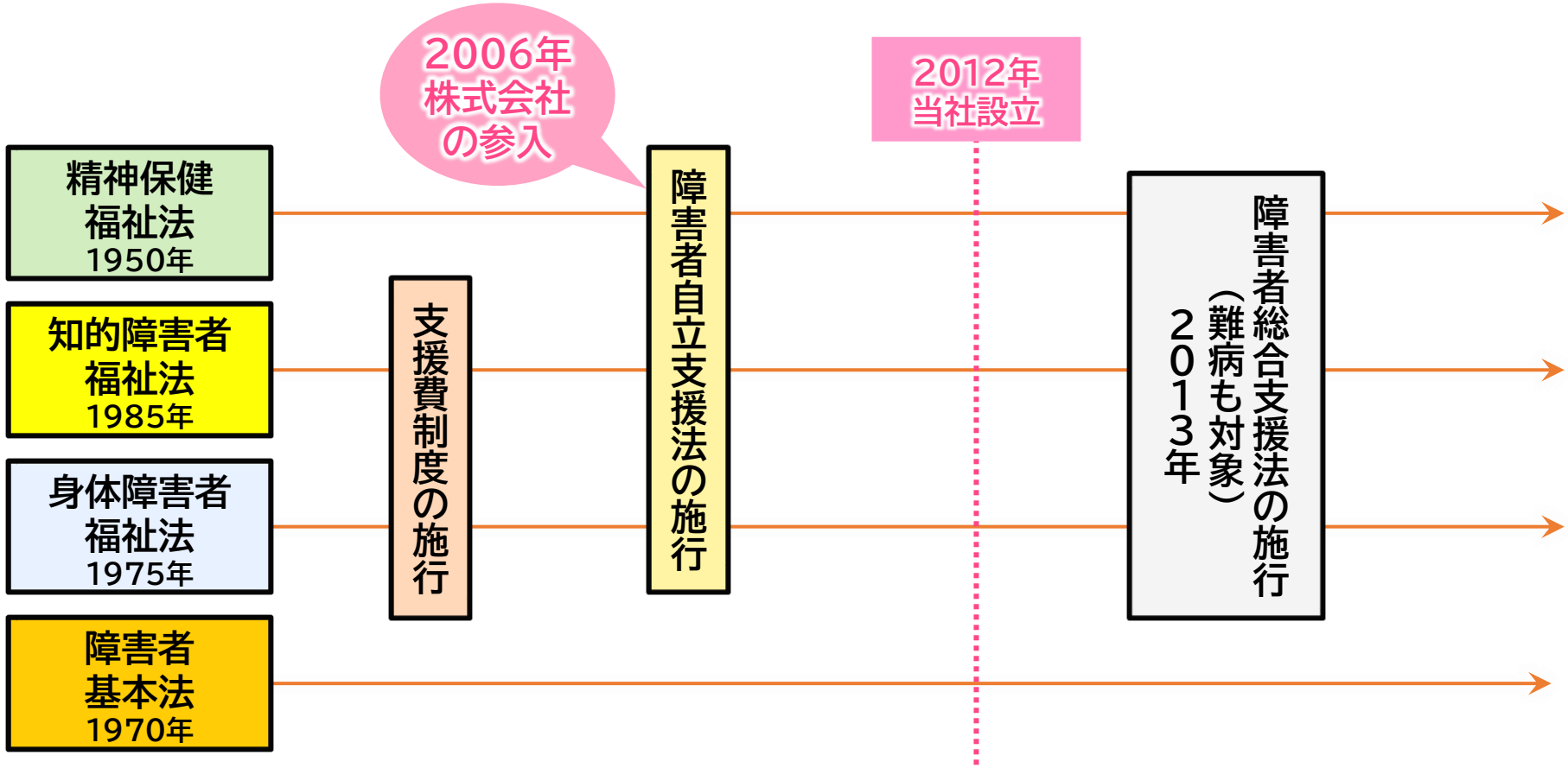
ココルポートイレブン

1	安心される存在となる
2	一人ひとりに寄り添う
3	小さな変化を捉える
4	気づきの機会を提供する
5	自己決定を尊重する
6	どんなときも信じ続ける
7	創意工夫を重ねる
8	チャレンジを讃える
9	ひとりの壁をチームで超える
10	自らを磨く
11	正しいことをする

©2026 Cocorport, Inc.

障害者支援サービスの民営化進展と当社の事業所展開

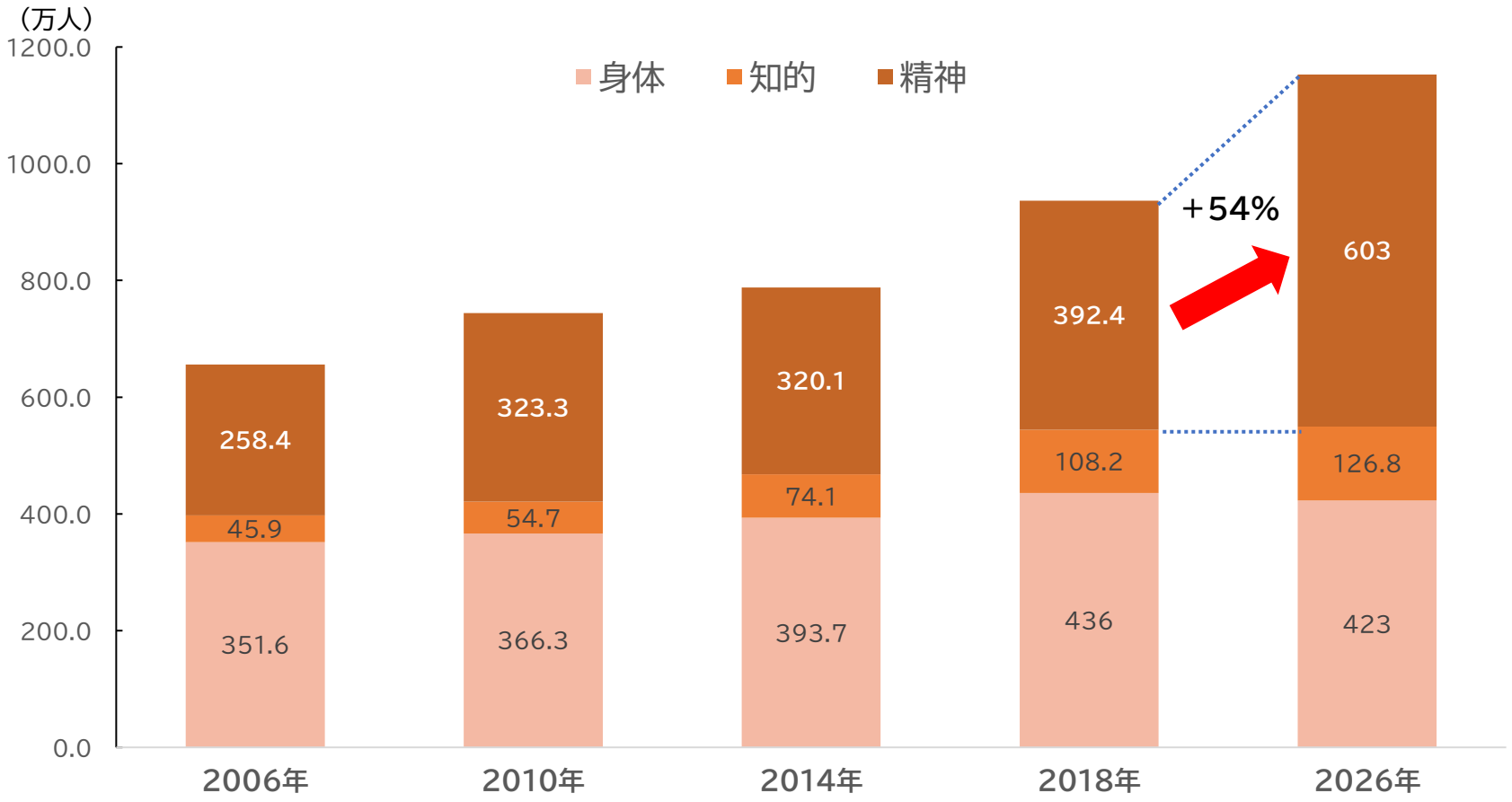
- 2006年より「障害者自立支援法」が導入され、営利法人の参入が可能に。
- 当社は2012年より市場参入。



©2026 Cocorport, Inc.

市場環境について（障がい者数推移）

■ 障がい者数は、約1,152万人。
※うち18歳以上65歳未満の在宅者は約455万人。
→精神障がい者数が8年間で54%増。



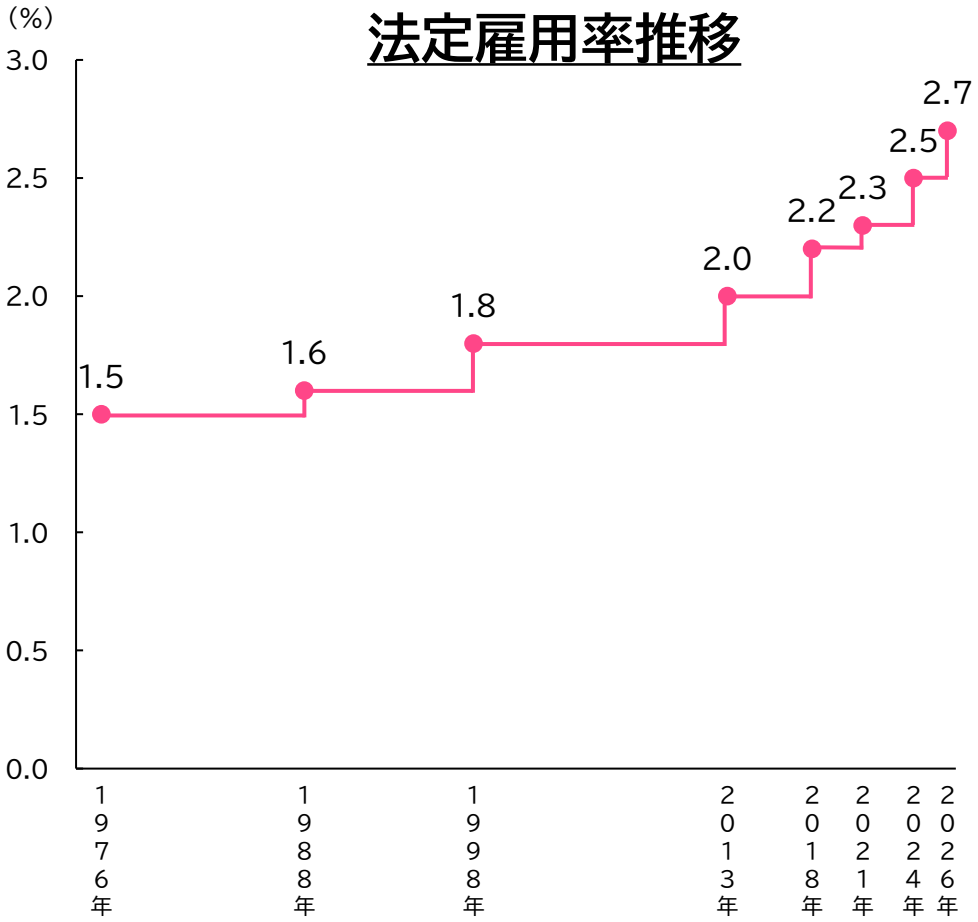
出典:厚生労働省「障害者数の推移」と内閣府「2026年版　障害者白書」より当社作成

©2026 Cocorport, Inc.

法定雇用率の上昇が障がい者雇用ニーズの増加へ

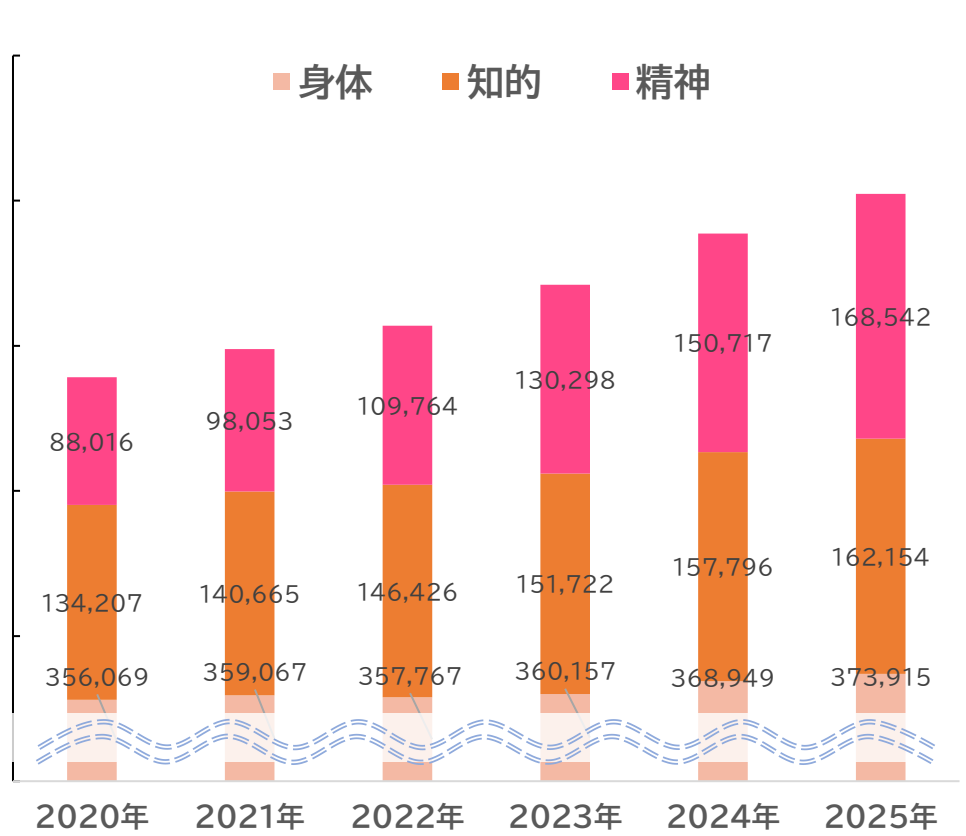
■ 2024年改定の法定雇用率は過去最大の引き上げ(2024年:2.5% 2026年:2.7%)。
⇒今後も求人ニーズ(就労移行支援ニーズ)は上昇することが予測される。

法定雇用率推移



出典:厚生労働省 「障害者雇用状況の集計結果」
「令和5年度からの障害者雇用率の設定等について」より当社作成

実雇用推移



CAGR
20~25

4.0%

13.9%

3.9%

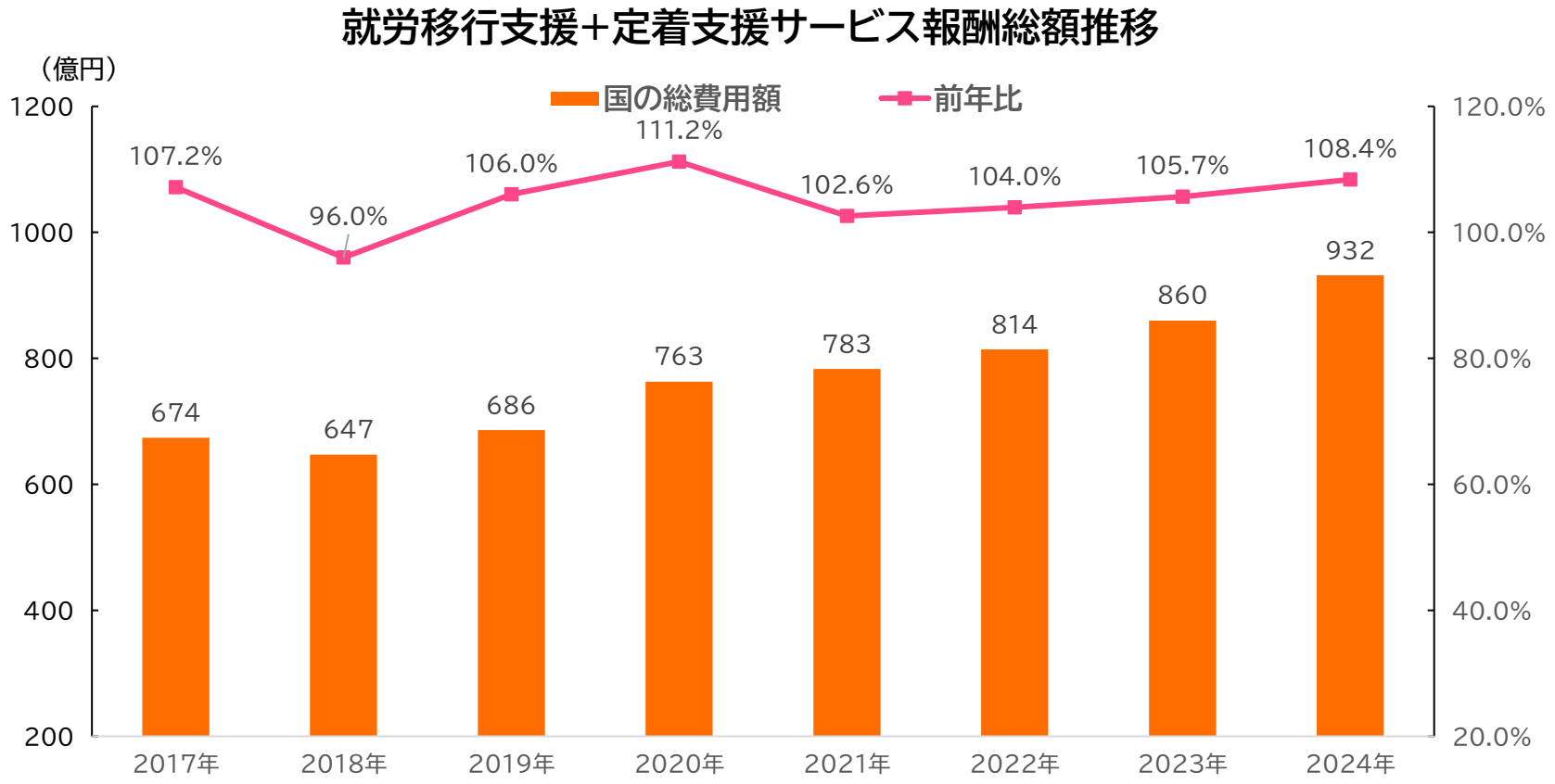
1.0%

出典:厚生労働省 「障害者雇用状況の集計結果」より当社作成

©2026 Cocorport, Inc.

就労移行支援+定着支援サービス報酬総額推移

■ 就労移行支援+定着支援サービス報酬総額は、2018年度に一時的に減少したが、その後報酬総額は増加に転じる。

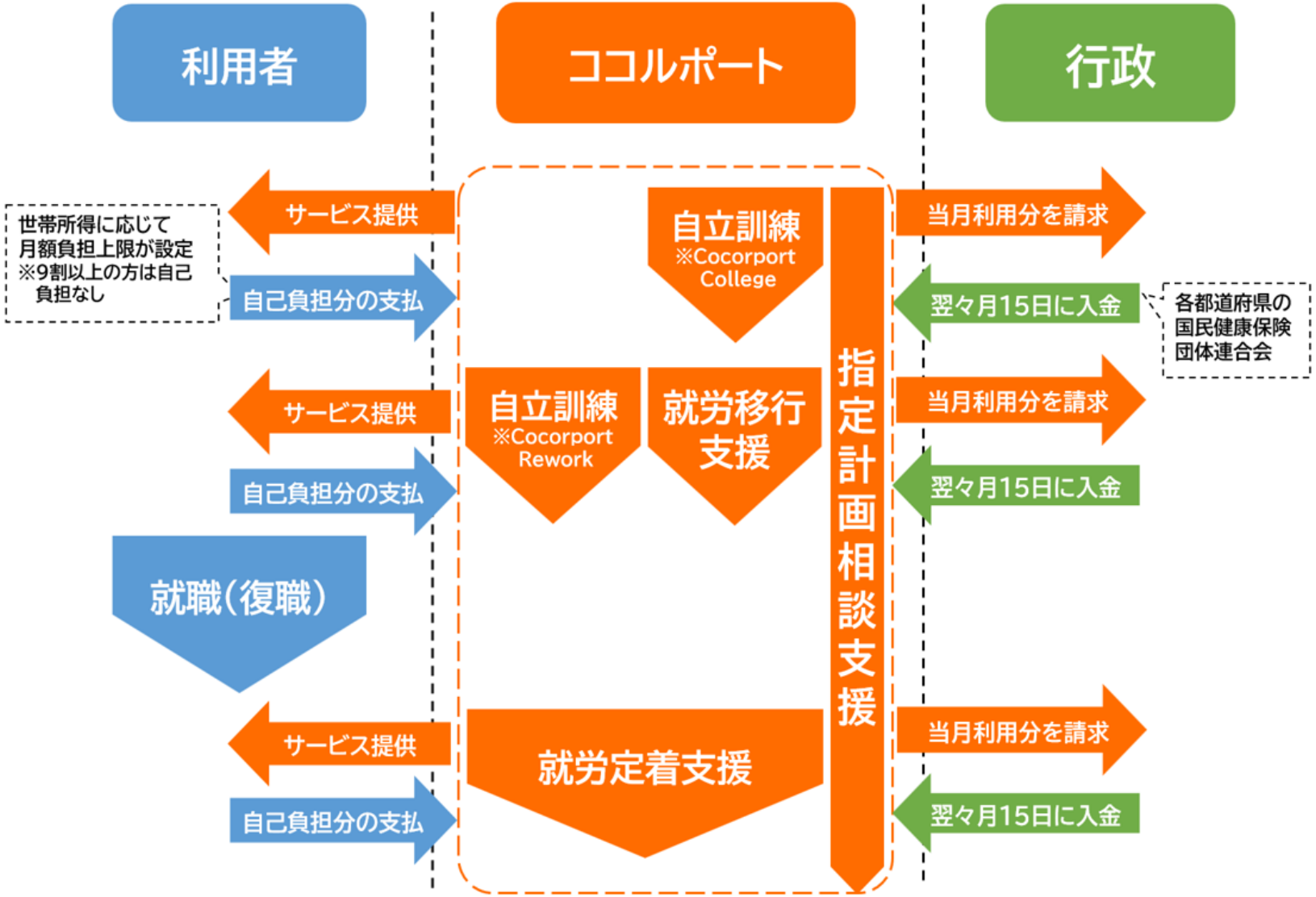


出典：厚生労働省「障害福祉分野の最近の動向」
「障害福祉分野の最近の動向について」より当社作成

©2026 Cocorport, Inc.

ビジネスモデル

ご利用者様に対する障害福祉サービスの提供により、行政（一部ご利用者様）から報酬を受領。



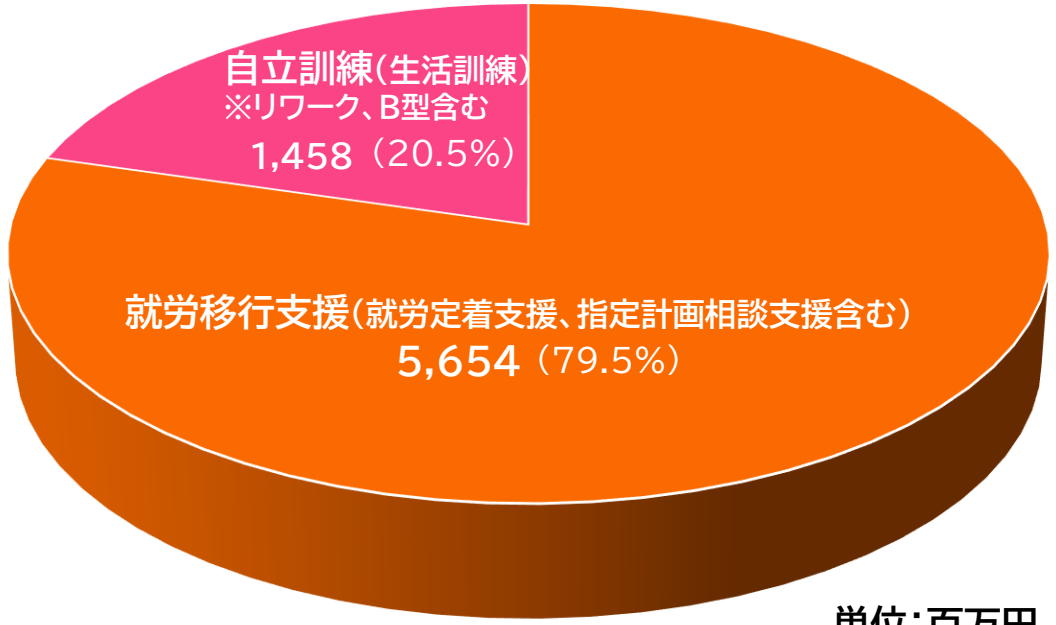
©2026 Cocorport, Inc.

サービス内容

障害者総合支援法に定められた、以下の指定障害福祉サービスを提供。

サービス名	サービス内容
■ 就労移行支援	障がいのある方が就労に向けたトレーニングを行い、働くために必要な知識やスキルを習得し、就職後も職場に定着できるサポートを行うサービスであります。
■ 就労定着支援	一般就労をしている障がいのある方が長く職場に定着できるよう、障がいのある方との相談を通じて生活面の課題を把握するとともに、企業や関係機関等との連絡調整やそれに伴う課題解決に向けて必要となる支援を行うサービスであります。
■指定計画相談支援	障がいのある方が自分らしく生活していくために福祉サービス利用についての相談と目標に合わせた計画を作成するサービスであります。
■自立訓練（生活訓練）	障がいのある方が自立した日常生活や社会生活がおくれるよう、生活能力の維持・向上のための訓練や助言などのサポートを行うサービスであります。
■リワーク ※自立訓練（生活訓練）	精神的な不調により休職した方の職場復帰をサポートするため（復職支援）のプログラムを行うサービスであります。

2026年6月期サービス別売上



単位：百万円

■2025年10月1日から、就労継続支援B型（※）併設の多機能型事業所開設。
※就労継続支援B型：雇用契約に基づく就労が困難な障がいや難病等のある方が、生産活動などの機会を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行うことができるサービス。
※多機能型事業所　：2種類以上の障害福祉サービスを一体的に行う事業所。

©2026 Cocorport, Inc.

当社の障害福祉サービス事業コンセプト

事業コンセプト

『個別』、『支援』、『幅広い受け入れ』にこだわる

人は一人ひとり違います。だからご利用者様お一人おひとりに適した支援を提供する。

ゴールは就職ではなく、自立。だから指導ではなく支援を大切にする。

手を差し伸べてほしいと思う方々に手を差し伸べる。だから少ない通所数からでも受け入れる。

私たちココルポートが大切にしている福祉に対する考え方です。

©2026 Cocorport, Inc.

福祉の考えを貫くことそのものが競争優位

- **集団ではなく『個別』**

  人は一人ひとり違います。性別、年齢、障がい種別、状態、個性。
  お一人おひとりに合った多種多様なプログラムを用意(就労移行支援:600種類以上　自立訓練:450種類以上)。
  ⇒ご利用者様の安心感。

- **指導ではなく『支援』**

  ご利用者様が将来自立して生活していけるように自己決定を尊重。ゴールは就職ではなく自立。
  ⇒各種支援機関からの紹介の多さ。

- **幅広い受け入れ(週2日程度の通所からでも受け入れ)**

  週4日以上の通所から受け入れる就労移行支援事業所が多い中、ご本人の意志と行政からの受給者証があれば区別なく受け入れております。
  少ない通所数からでも就職に導くノウハウが蓄積されており、高い就職率を誇っております。
  ⇒ご利用者様のターゲットを拡大(安定した業績形成)。

©2026 Cocorport, Inc.

当社の自立訓練(生活訓練)事業所“Cocorport College”

・青年期の障がい者が、自立に向け様々な知識や経験を積むための“学びの場”。
・「自立訓練(生活訓練)」という既存のサービスに「社会教育」という価値を追加。

対象として就労移行支援に
通所する前段階の方々を想定

Cocorport College

社会課題(社会的引きこもり)を解決

- 青年期の社会的引きこもり状態にある方で、障がいのある方は数多く存在
- 一般就労、就労移行支援、就労継続A/Bなどの社会福祉資源に繋げ、社会的自立をサポート
- 社会性を身に着けていただくことにフォーカス

ご本人・ご家族が安心した社会生活を送れることを実現

- 障がいによる課題に直面している当事者の方、将来に不安を感じているご家族の方々の希望になるサービスを企図
- 豊富なプログラムと多様な進路
  様々な方々を支援できるように、450種類以上のプログラムを用意

©2026 Cocorport, Inc.

当社の自立訓練（生活訓練）事業所“Cocorport Rework”

・復職までのプロセスを4つのステップに分け、600種類以上のプログラムから
リワークに適したプログラムを厳選して用意。

①Regain 体力をつける

主な訓練＆プログラム内容



- 取り組む前の状態を確認しよう
- 活動記録表を作成しよう
- ウォーキングを継続しよう
- 快眠の工夫

体力をつける

基礎体力が回復することで、
生活のリズムが整う

②Reflection 価値観を見つめる

主な訓練＆プログラム内容



- 自分を理解する
- マインドマップを作成する
- 自分の強みと課題に向き合う
- 価値観について考える

価値観を見つめる

前向きに過去の自分の行動や
感情を見つめ、
自分の価値観を理解する

③Reframe 見方を変える

主な訓練＆プログラム内容



- 考えと気持ちの連動を知る
- 認知行動療法
- 過去の習慣から新たな習慣をつくる
- ストレスに対する対処法を身につける

見方を変える

過去に捕らわれずに
見方を変えることで、
思考のクセを自分で見つける

④Restart 明日へつなげる

主な訓練＆プログラム内容



- 仕事に近い内容のオフィスワークや軽作業
- 困りごとを想定しよう
- 働くにあたって最も大切にしたいこと
- 復職のタイトルをつけよう

明日へつなげる

これまでの訓練を振り返り、
自分と自信を取り戻し、新しい
働き方をはじめる

©2026 Cocorport, Inc.

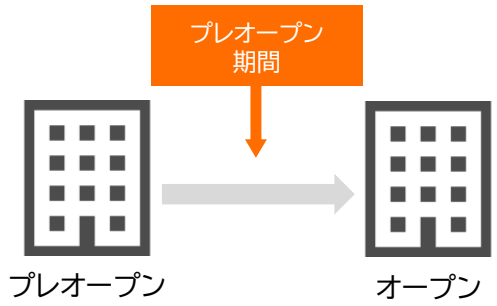
用語解説

報酬改定
基本報酬や加算等の見直しは、3年ごとに大きな改定が実施されます。
※次回の改定は2027年4月を予定

利用期間
就労移行支援、自立訓練(生活訓練)を受けられる期間は原則2年間(就労定着支援は最長3年間)。

基本報酬
1人のご利用者様に1日サービス提供をすると得られる報酬。

プレオープン期間
ご利用者様がオープン前に実習をしていただく期間となります。また新規出店に関わる費用の多くは、プレオープン時に計上されます。(売上は計上されません)



売上
就労移行支援と自立訓練(生活訓練)については、ご利用者様にサービス提供を行った場合(1日単位)、基本報酬(他に加算等あり)に地域係数(約10～11円)をかけた金額が計上されます。

報酬単価(事業所ごとの基本報酬)
就労移行支援の基本報酬は、毎年3月31日をもって事業所ごとに過去2年間の「6か月定着実績人数」に応じて右表の通り7ランクに振り分けられ、翌4月1日から1年間固定されます。一方で、自立訓練(生活訓練)の基本報酬は固定となっております。

	6か月定着数	基本報酬(単位)
就労移行支援	20名以上	1210
	16～19名	1020
	12～15名	879
	8～11名	719
	4～7名	569
	1～3名	519
	0名	479

※20名定員の場合

	基本報酬(単位)
自立訓練(生活訓練)	776

定着率
事業所を利用して就職に結びついた方が、6か月以上仕事を続けられているかの割合(職場に定着できたか)を指します。
※離職率等は1年を単位にしているケースが多いですが、6か月となります。

加算
要件を満たす(例えば福祉専門職員を配置するなど)場合に基本報酬に加えて算定される上乗せ分の報酬です。基本報酬と比較するとそれぞれの加算自体は大きくはないものがほとんどですが、例えば自立訓練(生活訓練)における就職定着者数1名につき54単位(就労移行支援体制加算)など内容によって大きい単位のものもあります。



©2026 Cocorport, Inc.

7.【参考】競争優位性

©2026 Cocorport, Inc.

① 競争力の源泉は“福祉のあたりまえ”を徹底出来る実行力

- （効率を優先することなく）愚直に「福祉の基本的な考え方」に基づき業務を遂行。
- 競合他社対比「質の高い支援力」、「顧客ターゲットの拡大」を実現。

ココルポートの“あたりまえ”

福祉の基本的な考え方

集団ではなく「個別」	指導ではなく「支援」	幅広い受け入れ
人は、一人ひとり違う	ゴールは自立	手を差し伸べてほしいと思う方々に手を差し伸べる

非効率だからやらないのではなく、どうしたらできるのかを追求

競合他社の“あたりまえ”

効率を優先した考え方

「個別」は手間がかかる	指導の方がスピーディー	“就労フェーズ”を中心に

非効率な取り組みを回避し、効率的に遂行出来る業務に徹する

競争優位性

質の高い支援力（個別支援）を実現

顧客ターゲットの拡大を実現

©2026 Cocorport, Inc.

ココルポートの考えるゴールは「自立」

『個別』と『支援』

ゴール

「指導」ではなく
『支援』

「集団」ではなく
『個別』

ご利用者様
の現在

お一人おひとり
違うから。

目的は
『自立』だから。

「就職」？

「自立」です！

「就職」は手段です。

人は一人ひとり違います。そのため、「一括り（集団）」に「教える（指導）」のではなく、自立した人生を送ることができるように、お一人おひとりに合わせて（個別）、助け、支え（支援）ることに拘っております。

©2026 Cocorport, Inc.

『個別』と『支援』に拘り醸成される質の高い支援力

- 『個別』と『支援』に拘り、ご利用者様それぞれに最適な支援を提供。
- 各事業所毎の運営により、現場力を能動的に向上し「質の高い支援」を実現。

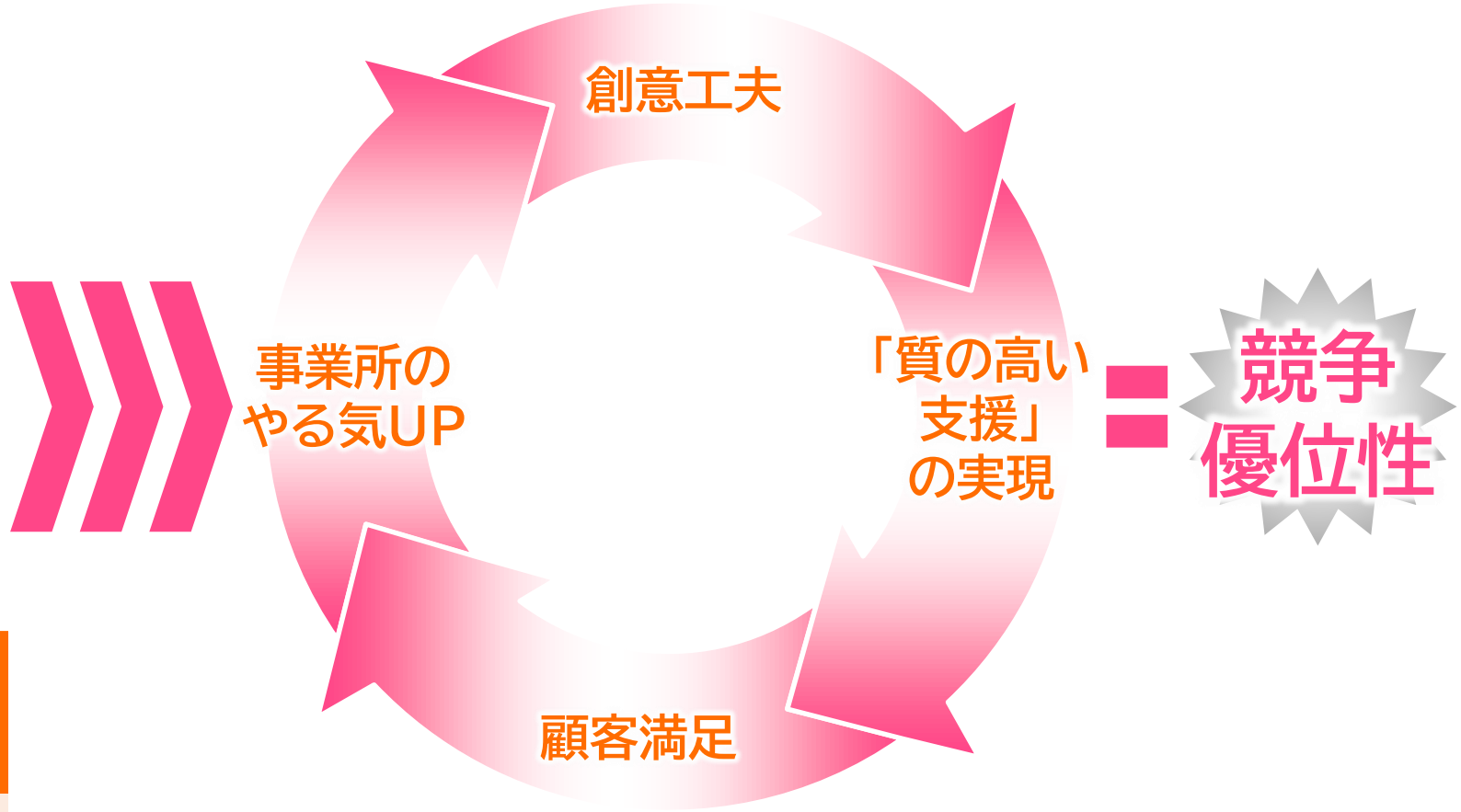
「個別」と「支援」に
こだわる

ご利用者様毎に
状況は異なる

各事業所ごと最適な運営
（現場への権限移譲）

**ご利用者様お一人おひとりに
適した支援を提供**

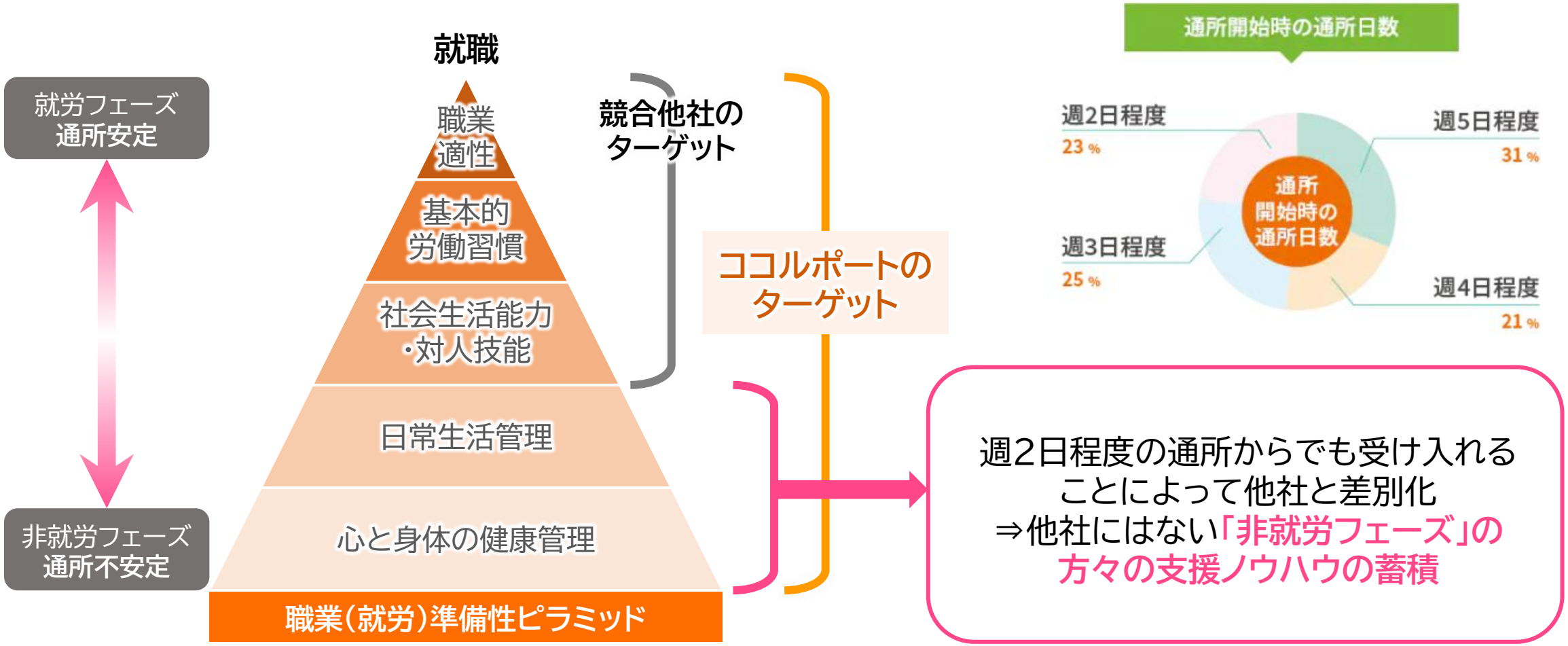
例：訓練プログラムは現在600プログラム以上



©2026 Cocorport, Inc.

「非就労フェーズ」まで幅広く受け入れ、ターゲットを拡大

- 「非就労フェーズ」まで受け入れ、障がい者の方々が生き生きと働ける人生を支援。
- より大きな潜在市場である「非就労フェーズ」を取り込むことに成功。



週2日程度の通所からでも受け入れることによって他社と差別化
⇒他社にはない「非就労フェーズ」の方々の支援ノウハウの蓄積

©2026 Cocorport, Inc.

「幅広い受け入れ」を可能にする経営資源

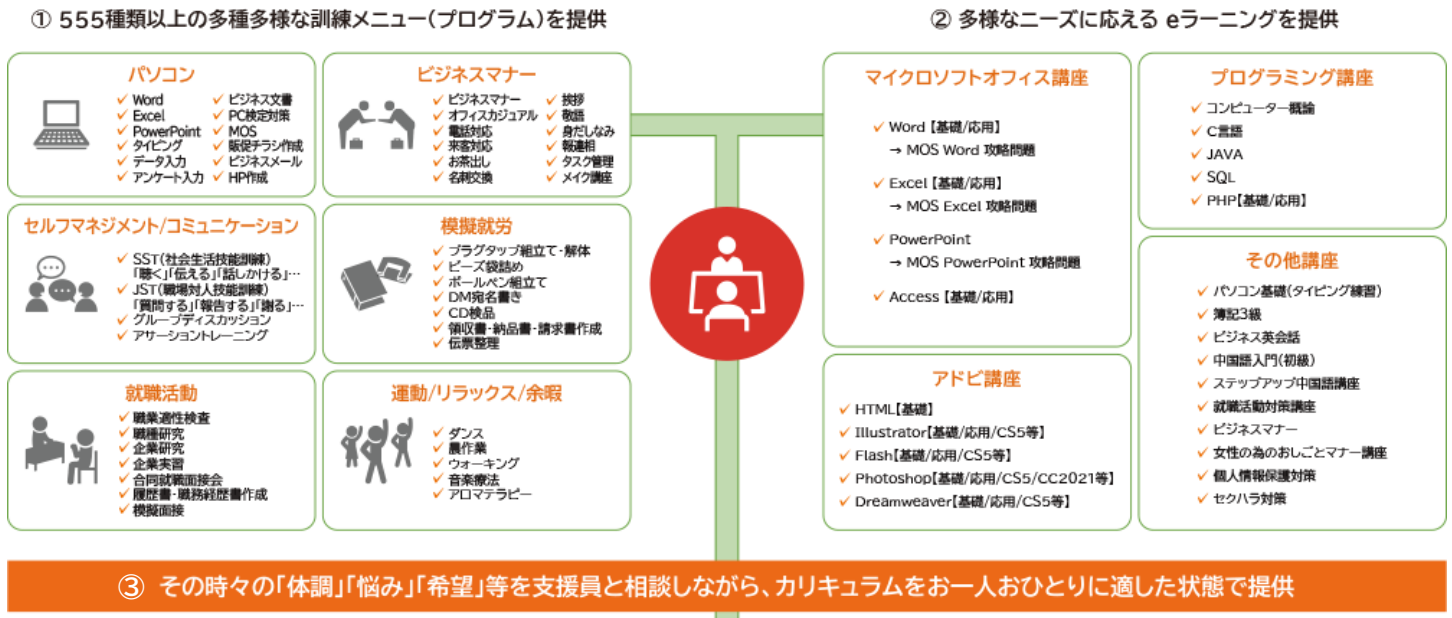
「幅広い受け入れ」を
可能にする経営資源が存在。

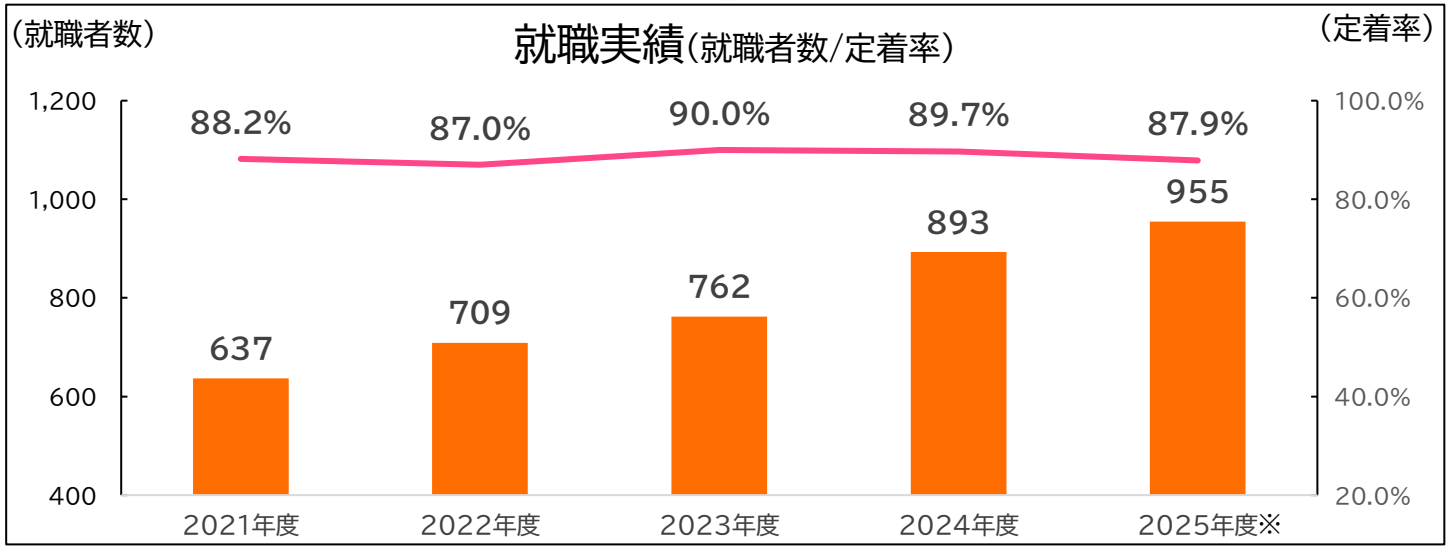
① 600種類以上の多種多様な訓練メニュー(プログラム)

② 多様なニーズに応えるeラーニング

③ 週2日程度の通所からでも就職、そして就労定着まで導くことができる人材とノウハウ(企業文化・風土)

⇒非就労フェーズの方も含めて幅広く受け入れていても、業界最高水準の就職実績。





※4月～3月までの期間

©2026 Cocorport, Inc.

『個別』と『支援』を可能にする人材マネジメント

＜仕組み/制度＞・エントリーマネジメント　・行動指針の浸透を目的にした定期的コミュニケーション
・理念行動指針に沿った人事制度　・教育研修制度の充実　・福利厚生の充実による社員還元

新卒/中途

企業理念

私たちは一人ひとりの可能性を信じ、
自分らしさと笑顔あふれる社会を共創します。

私たちは一人ひとりが様々な可能性を持っていることを知っています。
そして、一人ひとりの自分らしさと笑顔あふれる社会を、
関わる全ての人たちと共に創り上げていきたいという願いを企業理念としています。

行動指針

Cocorport 11
ココルポートイレブン

1. 安心される存在となる
2. 一人ひとりに寄り添う
3. 小さな変化を捉える
4. 気づきの機会を提供する
5. 自己決定を尊重する
6. どんなときも信じ続ける
7. 創意工夫を重ねる
8. チャレンジを讃える
9. ひとりの壁をチームで超える
10. 自らを磨く
11. 正しいことをする

人事制度

エントリーマネジメント

行動指針の浸透

成長ドライバー

障がい者福祉の当たり前を当たり前に行う
企業文化・風土

（見えないからこその）競争力の源泉

教育研修

教育研修
◆新人研修（事業所配属前）
◆フォローアップ研修（入社後の約半年間）
◆支援の振り返り研修
（入社後1年経過時、3年以上経過時）
◆スキルアップ研修（セルフケア研修）
◆新任マネージャー研修
◆サービス管理責任者・マネージャー・エリアマネージャー
対象研修（外部講師による人材育成に関する研修）
◆グロービス研修
◆グロービス学び放題
◆虐待防止研修
◆個人情報保護研修
動画研修
◆就労定着支援サービス研修「はじめての就労者支援」
◆計画相談支援とは
◆各種精神疾患等

福利厚生

福利厚生
◆賞与制度
◆半期表彰制度
◆ナイスチャレンジ制度
◆従業員持株会
◆資格取得支援制度
◆育児短時間勤務制度
◆育児時差出勤制度
◆時差出勤制度
◆早帰り制度「どろんカード」
◆子の看護・介護休暇
◆リフレッシュ休暇制度
◆手当
・住宅手当（15,000円/月）
・扶養手当
（1人目:15,000円/月、2人目以降:5,000円/月　※3人まで）
・資格手当:5,000円
（社会福祉士、精神保健福祉士など対象資格を1つにつき）

©2026 Cocorport, Inc.

『個別』と『支援』を可能にする人材

支援のレベルアップを意図して資格取得支援制度を設置。
加えて資格手当も支給。

有資格者		人数
福祉系	社会福祉士	129
	精神保健福祉士	90
	介護福祉士	96
	作業療法士	7
心理系	臨床心理士	9
	公認心理師	24
キャリア系	キャリアコンサルタント	34
	産業カウンセラー	20

2026年9月末時点
※従業員数:853名

©2026 Cocorport, Inc.

② 経営資源の効率的な活用を企図した「ドミナント展開」

- 「福祉の基本的な考え方」に基づいた業務遂行（非効率）のため、経営資源を効率化。
- 効率的な集客、人的資源の最大化、情報の有効活用等のメリットを享受。

営業活動の効率化（福祉特有の地域連携強化）

- 地域内の社会資源（公的機関、医療機関、支援機関等）に対して効率的な営業活動が可能
- その結果、域内における認知度は向上し、問い合わせは増加（集客効果）

人的資源の最大化

- 「採用」の効率化
- 「教育」の効率化
- 「人員配置」の効率化
- 「サポート体制」の効率化

情報の有効活用

- スピーディーな情報流通
- ドミナント内で人材交流を促すことで、人の異動と同時に情報の流通も意図的に促すことが可能

©2026 Cocorport, Inc.

本資料の取扱について

- 本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは資料作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものになります。

- 本資料は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

©2026 Cocorport, Inc.



Cocorport

＜企業理念＞
私たちは一人ひとりの可能性を信じ、
自分らしさと笑顔あふれる社会を共創します。

©2026 Cocorport, Inc.